

1. 略歴

1991年	東京大学大学院人文科学研究科博士課程博士・博士（文学）
1991年11月	東京大学文学部助手
1993年4月	大阪外国語大学外国語学部助教授
2002年3月	ケンブリッジ大学古典学部客員研究員、クレアホール客員フェロー（～2003年2月）
2006年4月	東京大学大学院人文社会系研究科助教授
2007年4月	東京大学大学院人文社会系研究科准教授
2010年11月	東京大学大学院人文社会系研究科教授

2. 主な研究活動

a 専門分野 b 研究課題

古代ギリシア史

c 概要と自己評価

研究・教育及びこれに関わる学内外の諸活動に従事し、責務を果たした。

d 主要業績

(1) 著書

単著、橋場弦『民主主義の源流：古代アテネの実験』、講談社学術文庫、2016.1

編著、橋場弦、村田奈々子ほか、『学問としてのオリンピック』、山川出版社、2016.7

共著、木村靖二、岸本美緒、小松久男編、『詳説世界史研究』、山川出版社、2017.11

(2) 書評

栗原麻子、『アッティカ民衆法廷における報復のレトリック—リュクルゴス『レオクラテス弾劾』を中心に—』、『法制史研究』、65号、313-315頁、2016.3

仲手川良雄、『古代ギリシアにおける自由と社会』、創文社、『歴史学研究』、952号、41-44頁、70頁、2016.12

(3) 啓蒙

橋場弦、「オリンピックの余韻」、『公研』、637号、14-15頁、2016.9

橋場弦、「誓う」、『公研』、643号、14-15頁、2017.3

橋場弦、「町村総会」、『公研』、649号、12-13頁、2017.9

橋場弦、「石の声を聞く」、『公研』、655号、14-15頁、2018.3

(4) 会議主催(チェア他)

国際、「国際シンポジウム 古代都市ポンペイの動物利用と街路風景Ⅱ」、主催、2016.12.10

国際、「古代史の会」、チェア、Kurt Raaflaub, War and young citizens' rebellion against democracy in late fifth-century Athens、東京大学文学部第三会議室、2017.9.19

国際、「古代史の会」、チェア、Neil McLynn, The Donatist Mirage: Aurelius of Carthage and the remaking of the African church、東京大学文学部第三会議室、2017.12.23

(5) 教科書

『詳説世界史』、木村靖二ほか、執筆、山川出版社、2017

(6) 研究テーマ

文部科学省科学研究費補助金、基盤研究(C)、橋場弦、Yuzuru Hashiba、研究代表者、「古代ギリシア民主政における無頭性とリーダーシップの研究」、2017～

3. 主な社会活動

(1) 学会

国内、日本西洋古典学会、委員、書評委員、2016.1～2017.12

国内、史学会、一般会員、2016.1～2017.12

国内、日本西洋史学会、一般会員、2016.1～2017.12

国内、法制史学会、一般会員、2016.1～2017.12

国際、Hellenic Society、一般会員、2016.1～2017.12